

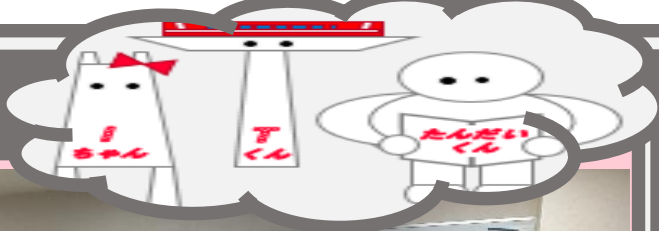
2023
令和5年1月30日
第32号

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 分かり易く役立つ授業!



伊藤先生によるワークショップ



杉山先生による授業



1年生対象の『ヒューマニティー・インクループ』講座が実施されています。この講座では、心理学の知見を基に「社会人基礎力（①前に踏み出す力 ②考え抜く力 ③チームで働く力）」の醸成や、「コミュニケーション能力向上」のための知識とスキルを学びます。講師は、伊藤先生、杉山先生（共に一般社団法人「日本ハピラボ協会」所属）で、「能力の最大化とは」「マナーとはなにか」「最強のコミュニケーション力とは」等で、ワークショップを行っています。

大里竜也さん（下館工高卒）は「社会人としてのマナーや敬語など、これからの人生で役立つスキルをグループワークも交え楽しく学んでいます」

清和杏羽さん（茨城東高卒）は「フレンドリーな先生方で、分かりやすく役立つ授業だと思います」と話していました。

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 日本経済新聞(2023年1月4日)
「社会人は『会社人』にあらず」

◇要約

●今川葉菜さん（石岡商高卒）
若者の早期離職を防ぐにはどうすればいいのだろうか。作家の池井戸潤氏は、「一生懸命に働くこと、周囲の人へのリスペクト、人としての賢さ」を社会人として肝に銘じて欲しいと語る。



◇感想

●稲毛 陸さん（水戸商高卒）
自分自身を見失わない考え方。自分は何者なのかを考えることの大切さを再確認した。そういうことを含めて人としての賢さなのだと思う。これは、これから豊かに生きる上で最も重要なことの一つだと思う。

●山田彩乃さん（水戸啓明高卒）
私も就職活動が始まり、社会人としての在り方や働く意義について考えることが増えた。就職した後、今の考え方とは変わってしまうかもしれないとこの記事を読んで感じた。人としての賢さを身に着け社会人として働きたい。

●清和杏羽さん（茨城東高卒）
まだ社会人になるのに不安が多く何をしたら良いのか分からなくなる。その時に、この記事を読んで何をしたらいいのかを再確認できた。また、会社に入るまでにこの記事を読むことは重要だと感じた。

●中熊柚香さん（水戸二高卒）
これから社会人になろうとしている立場であるため、この記事で主張されていることを意識していきたい。入社後も、自分を見失うことなく、自分の力で生きていけるようなスキルを、身に付けられるように頑張ろうと考える。



2 雪道をゆっくり歩いて!



雪景色



1月24日(火)、夕方から夜にかけて、広い範囲で積雪があり、水戸も7センチを観測しました。本校では、翌朝早くに通用門付近に融雪剤をまくなど、通学路の安全に努めました。学生は、「道が凍結していて登校するのが大変でした」「雪道をゆっくり歩いてきました」等と話していました。



雪に覆われた田畑と常澄駅



茨城県立産業技術短期大学校
URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

